

日本史 B

1 次の文章を読み、下記の問に答えなさい。なお、問6を除き、下線部と問の番号は対応している。

日本の近代化の過程では、主に明治政府によって雇用された¹外国人教師が²西洋の学問や技術の指導にあたった。政府の招きで来日し、東京大学で地質学を教えた（ A ）は、更新世の日本列島に生息したゾウの研究も行い、それには自身の名が冠されることとなった。また、工部大学校で地質学と鉱山学を教え、日本における地震学の父ともよばれるミルンもそうした人物の一人であった。1876年に招かれ、東京医学校で医学を指導した（ B ）は、横浜で根岸貝塚を調査している。東京大学で動物学を教え、「日本その日その日」の自著がある（ C ）も、本業の傍ら大森貝塚の発掘調査を手がけた。

日本美術研究家でアメリカ人の（ D ）は、日本古来の美術を評価し、（ E ）とともに東京美術学校の設立に関わった。（ F ）は自らの³父親の著書「日本」で日本の先史時代に関心を持ったとされ、通訳や外交官として活躍し、（ C ）とほぼ同じ時期に⁴大森貝塚を調査している。このように、近代的な学問としての日本の考古学も在日外国人によってその基礎が築かれた。スコットランド生まれのマンローも、横浜で開業医として活躍する一方、1905年には神奈川県4の早川・酒匂川流域で⁵旧石器の発掘を行い、それは旧石器を目的とした日本考古学史上初めての調査と評価されている。

問1 フランス人技師ブリューナの指導のもとで、1872年に開業した群馬県の官営工場の名称を漢字5字で答えなさい。

問2 (1) これらの技術などの導入によって近代産業の育成を図る政府の方針を漢字4字で答えなさい。
(2) 鉱山・造船・電信・製鉄などの官営事業を管轄した1870年に設立された行政機関名を漢字3字で答えなさい。

問3 この人物は長崎郊外で私塾を開き、高野長英らを育てたが、その私塾の名称を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 適々齋塾 イ. 松下村塾 ウ. 懐徳堂 エ. 鳴滝塾

問4 千葉県にある縄文文化の代表的な貝塚を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 加曾利貝塚 イ. 鳥浜貝塚 ウ. 夏島貝塚 エ. 中里貝塚

問5 1946年に群馬県の岩宿で、更新世の堆積層中から石器がみつき、旧石器時代の存在が広く知られるきっかけとなった。石器を発見した人物名を漢字4字で答えなさい。

問6 AからFに入るふさわしい語句を下から選び、記号で答えなさい。

ア. パークス イ. フェノロサ ウ. コンドル エ. ベルツ オ. ラグーザ
カ. ナウマン キ. モース ク. シーボルト ケ. 内村鑑三 コ. 岡倉天心

2

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

「応仁丁亥ノ歳、天下大ニ動乱シ、ソレヨリ永ク¹五畿七道悉ク乱ル。其起ヲ尋ルニ、²尊氏將軍ノ七代目ノ將軍³義政公ノ天下ノ成敗ヲ有道ノ⁴管領ニ不任、……、⁵御台所ヨリ恩賞ニ被行」。これは、『応仁記』の一部である。ここに記されるように、応仁の乱が起こった原因は、⁶所領訴訟への対応なども含めた、当時の為政者の失政による部分が大きかったと考えられる。

しかし、それに加えて、⁷將軍家および有力大名家の家督争いも、この乱を引き起こすことになった要因の一つであろう。それら將軍家や有力大名家に相次いだ内紛は、そもそも、⁸乱が起こる以前から表面化していた將軍権力の弱体化にともなう部分も大きかったが、この乱によって、⁹室町幕府の権威はますます落ち、日本は、いよいよ¹⁰戦国の様相を深めていくこととなった。

問1 ここでは「日本全国」という意味で使われている「五畿七道」であるが、そもそもは、五畿（畿内ともいう）と七道は、古代の地方行政区分のことである。これに関連する次の問に答えなさい。

(1) 律令下において民衆に課せられた税や課役のうち、五畿（畿内）ではその負担が免除されたものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 租 イ. 庸 ウ. 調 エ. 雑徭

(2) 七道のうち、現在の九州地方とほぼ重なっていたものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 南海道 イ. 西海道 ウ. 東海道 エ. 東山道 オ. 山陽道

(3) 五畿七道にちなんで、1869年に、蝦夷地は北海道と改称された。この時に設置された、太政官直属の役所で、北海道の開発や経営を行なうことを目的とした行政機関を何というか、答えなさい。

問2 1336年に、尊氏の諮問にこたえる形式で出された、当面の政治方針を何というか、答えなさい。

問3 義政は、文化の保護者として一定の評価を得ている人物である。義政が京都東山に設けた銀閣のある寺を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 清浄光寺 イ. 観心寺 ウ. 鹿苑寺 エ. 慈照寺 オ. 久遠寺

問4 室町幕府における管領の説明として、ふさわしくないものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 管領は、將軍を補佐する中心的な職であった。

イ. 管領には、赤松・一色・山名・京極の4氏（四職）が交代で任命された。

ウ. 管領は、侍所・政所などを統轄した。

エ. 管領は、諸国の守護に対する將軍の命令を伝達した。

問5 ここでいう御台所とは、義政の妻のことである。その人物名を答えなさい。

問6 各地にある所領のうち、諸国に散在した足利將軍の直轄領のことを何というか、答えなさい。

日

- 問7 将軍家における家督争いは、義政の弟である [] と、義政の子である義尚との間に起こった。
[] にあてはまる人物名を答えなさい。
- 問8 (1) 将軍権力弱体化の契機の一つに、1441年に起こった、有力守護 [] が当時の将軍である義教を殺害した事件がある。[] にあてはまる人物名を答えなさい。
(2) (1) の事件を何というか、答えなさい。
- 問9 室町幕府最後の将軍といえる、第15代足利将軍は誰か、答えなさい。
- 問10 応仁の乱以降、織豊政権までの時期の説明として、ふさわしいものを下から選び、記号で答えなさい。
ア. 守護大名の領国では、守護大名の留守を預かり、その領国を守っていた国地頭が力を伸ばし、領国支配の権限は彼らに移っていった。
イ. 室町幕府体制の崩壊により、守護による領国支配のありようも大きく変わり、次第に荘園制が復活していった。
ウ. しばしば、地域の秩序を争乱から守るために、土豪や地侍を中心に百姓ら地域住民までを広く組織した法華一揆が結ばれた。
エ. 山城国において約8年間にわたって国人の合議支配体制が続くなど、一揆の自治的支配が実現することもあった。

3

次の文章を読み、下記の問題に答えなさい。なお、問11を除き、下線部と問の番号は対応している。

「女性の社会進出」という言葉ほど誤解を招きやすいものはない。賃労働ではないものの、農山漁村では、女性は常に労働者であったし、産業革命が進んだ1900年の時点で、工場労働者のほぼ6割を占めていた繊維産業労働者の大部分は女性であったからである。¹女性労働者は、劣悪な環境・条件のもとで労働に従事することで、日本資本主義を支えたのであった。しかし、またそれゆえに、1911年に社会政策的な立場から工場法が制定されたものの、その労働環境・条件の改善は遅々として進むことはなかったのである。³

しかしながら、近代の女性は当初、参政権や集会・結社の自由、市町村住民としての公民権さえ持つことができなかった。参政権が認められなかったのは、大日本帝国憲法が臣民の義務として定めた（ a ）の義務を負っていなかったことにもよる。また教育においても、明治政府は当初、男女に等しく学ばせる国民皆教育をめざし、小学校教育に力を入れたが、まもなく家督相続における男系主義に基づく長男子の一括相続や、強い戸主権など家父長制的な家族制度のもとで、「良妻賢母」の育成を主眼とする教育が行われるようになった。

明治時代終盤になると、このように政治的にも社会的にも差別されていた女性の解放をめざす運動が平塚らいてうらによって結成された文学者の団体である（ b ）によって始まった。また、らいてうと太平洋戦争後には参議院議員となる人物らは、1920年に新婦人協会を設立し、参政権の要求など女性の地位を高める運動を行った。しかし、女性参政権が認められるのはGHQの占領下、1945年末を待たなくてはならなかった。⁹

また、大正期には、都市中間層の家庭で専業主婦が生まれ、女性が家計管理と子どもの養育・教育を担当するようになった。さらに旧来の教師や看護婦に加えて、電話交換手やタイピストなどの新たな仕事をもつ女性が増加し、（ c ）と呼ばれた。

だが、1937年に始まった日中戦争とこれに続く太平洋戦争は、国家総力戦となり、都市中間層を消滅させるとともに、社会の自由な雰囲気も奪った。戦時体制と統制経済のもとで、家庭の主婦は苦しい家計をやりくりしながら、軍隊の歓送迎や出征兵士・戦死者の遺家族の援護などをとおして戦争に協力させられ、未婚の女性も勤労働員のため組織されて学生・生徒とともに軍需工場で働かされた。¹⁰1944年からは本土空襲が本格化し、都市を中心に多くの被害が出た。

しかし戦前からの家業・家産を持たない都市生活者の増加と、大衆的規模の兵力動員にともなう女性の活動領域の拡大は、家秩序の解体を促すことで戦後の民主化の土台となった。現在にいたる「女性の社会進出」も、戦争によって夫や未来の花婿を奪われた多くの女性たちによって切り拓かれたものだったのである。



- 問1 当時の繊維産業労働者に占める女性労働者の比率として最も近い数字を下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 60% イ. 70% ウ. 80% エ. 90%
- 問2 1900年頃の繊維産業における女性労働の特徴のうち、製糸業にあてはまらないものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 賃金の前借り イ. 寄宿舎制度 ウ. 低賃金 エ. 年功賃金
- 問3 これに関連して第二次世界大戦後に、8時間労働制の規定などとともに、女性や年少者の深夜業を禁止した法律は何か、答えなさい。
- 問4 これに関連して男性に対しては（ ）年に普通選挙法が制定された。（ ）にあてはまる年を答えなさい。
- 問5 これに関連して義務教育における女性の就学率がほぼ100%に達するのは何年か、下から最も近い年を選び、記号で答えなさい。
- ア. 1880年 イ. 1890年 ウ. 1900年 エ. 1910年
- 問6 こうした家族制度を定めた法律は何か、答えなさい。
- 問7 この人物を下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 与謝野晶子 イ. 市川房枝 ウ. 山川菊栄 エ. 伊藤野枝
- 問8 この協会などによる運動の結果、1922年にある法律が改正され、女性も政治演説会に参加できるようになった。ある法律とは何か答えなさい。
- 問9 この新たな選挙制度のもとで行われた翌年の総選挙では初の女性議員が誕生した。このときの女性議員の数を下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 9人 イ. 19人 ウ. 29人 エ. 39人 オ. 49人
- 問10 この未婚女性を対象とした組織を何と呼ぶか、5文字で答えなさい。
- 問11 空欄 a ～ c に適語を入れなさい。

4

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、問12を除き、下線部と問の番号は対応している。本文には、問に関連して、意図的に誤った人名が使われているところがある。

広島県にて池田吾一郎の次男として生まれた池田勇人は、熊本の五高進学後、京都帝国大学法学部に入学した。大蔵省入省後、伯爵令嬢と結婚する。しかし、難病にかかり、休職の辞令が出される。さらに、看病疲れの妻が他界し、間もなく池田は大蔵省を退職した。

療養生活を経て全快した池田は、1934年、政府による財政拡大により多忙を極めていた大蔵省に復職した。終戦後は、第1次吉田茂内閣の石橋湛山蔵相の下で大蔵事務次官に就任した。石橋が池田を次官に抜擢したのは、池田の能力に加え、池田の政界入り志望に配慮したためともいわれる。続く片山哲内閣でも次官を務めた池田だったが、芦田均内閣の組閣を機に退官した。その後、池田は、民主自由党に入党、総選挙に立候補し当選した。

第3次吉田茂内閣で蔵相に抜擢された池田は、来日したドッジとの交渉を行う。ドッジとの交渉で対立点となったのは減税についてであった。減税に関してドッジを説得することが出来なかった池田はシャウブの来日による問題の打開に期待する。来日したシャウブの勸告がとりあえず減税の必要性を認めるものであったこともあり、池田は減税を実施した。

自由民主党結党に参加した池田は石橋湛山内閣で蔵相に就任した。続く第1次中曽根康弘内閣では蔵相に留任するものの後に事実上更迭され、第2次内閣では無任所大臣として入閣するも、警職法を巡る対応など強引な運営に反発し辞任した。しかし、改造内閣においては通産相として再入閣を果たした。安保改定問題で内閣が総辞職すると、池田は総裁選で勝利し、首相に就任した。「寛容と忍耐」を掲げた池田内閣は、経済面では国民所得倍増計画の閣議決定や農業対策、外交面ではGATT(A)条国への移行、OECD加盟、IMF 8条国への移行などを実現した。さらに、東京オリンピックの開催を実現し、成功を収めている。しかし、その少し前から体調の異変により、入院を余儀なくされた。オリンピックの開会式には出席したもののそれを花道に首相の座を降り、翌年死去した。

問1 池田勇人と同時期に五高に入学した人物に佐藤栄作がいる。佐藤栄作に関する事柄として正しいものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 自由党幹事長時に造船疑獄事件にからみ逮捕された。
- イ. 首相時に日韓基本条約の締結を実現した。
- ウ. 首相時に奄美諸島の返還を実現した。
- エ. 首相時に中華人民共和国との間にLT貿易の取り決めを結んだ。
- オ. 首相時に第1次石油危機に直面した。

問2 華族令で定められた五爵（子爵、侯爵、公爵、伯爵、男爵）を爵位が高い順に並べなさい。

問3 大蔵大臣として1932～34年頃の財政拡大策を進めた人物の氏名を答えなさい。



- 問4 石橋湛山が主幹を務めていた、1895年に創刊され、戦前から主として自由主義の立場を取った経済雑誌の名を創刊時の名称で答えなさい。
- 問5 第3次吉田内閣時に発生した、中央線の駅構内で無人電車が暴走した事件を何というか答えなさい。
ア. 三鷹事件 イ. 下山事件 ウ. 松川事件 エ. 砂川事件
- 問6 ドッジ及びドッジラインについて誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。
ア. 特別公使として日本に派遣された。
イ. 経済安定九原則を具体化する目的で実施された。
ウ. 予算を節約するため、資材と資金を石炭・鉄鋼などに集中させるよう指示した。
エ. 日本経済と国際経済を直結させるため、単一為替レートの設定を求めた。
オ. インフレの収束を決定的にする一方、デフレをもたらした。
- 問7 この勧告について誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。
ア. シャープを中心とした租税専門家チームによる勧告である。
イ. 平衡交付金制度の創設を求めた。
ウ. 間接税中心主義をとった。
エ. これに基づく税制改革において累進所得税制が用いられた。
- 問8 自由民主党結党前後の保守・革新両勢力の説明として、正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
ア. 革新勢力は国連を中心とした安全保障を主張した。
イ. 保守勢力は憲法の擁護（保守）を主張した。
ウ. 1955年2月の総選挙で議席を大幅に減らした社会党は左右両派の統一を図った。
エ. 保守陣営の国民民主党と自由党が合流して自由民主党が結党された。
オ. 自由民主党結党後、保守一党優位のもとで保革が対立する政治体制が成立した。
- 問9 農業の構造改善などを図るため1961年に制定され、その後1999年に廃止された法律を何というか、答えなさい。
- 問10 (A) に当てはまる数字を答えなさい。
- 問11 OECD加盟によって日本は資本の自由化を義務づけられた。この資本の自由化を一つのきっかけとして、財閥解体によって分割された3社が再合併し、1964年に企業が誕生した。現在でも、エネルギー分野、航空機分野、宇宙開発分野など様々な分野の製品を提供し、日本の重化学工業の一角を担うこの企業の名を答えなさい。
- 問12 本文中に明らかに誤った人物名がある。それを指摘するとともに正しい人物名を答えなさい。